

第1回 新たな経済成長戦略策定に向けた懇話会 議事概要

■日時：平成30年6月30日（月）18：00～20：15

■会場：仙台市役所本庁舎2階 第二委員会室

■テーマ：地元企業支援

■参加者（敬称略）：

仙台市長 郡 和子（座長）

宮城県中小企業家同友会 事務局長 一戸 大佑

株式会社ユーメディア 取締役 今野 彩子

塩竈港運株式会社 代表取締役社長 徳永 政男

中小企業基盤整備機構 東北本部 経営支援部長 中島 康明

株式会社日本政策金融公庫 仙台支店 国民生活第一事業副事業統轄 永沼 智佳

株式会社福田商会 代表取締役専務 福田 大輔

株式会社ケディカ 代表取締役 三浦 智成

株式会社ワイヤードビーンズ 代表取締役 三輪 寛

東北電子産業株式会社 代表取締役社長 山田 理恵

（進行役：仙台市経済局長 遠藤 和夫）

- 次第：1. 市長挨拶
2. 参加者自己紹介
3. プレゼンテーション
4. 意見交換

■主なご意見

【中小企業の人材確保について】

- ・ 人材採用コストは中小企業にとって非常に負担が重い。何らかの支援があると有り難い。
- ・ UIJ ターンを促進するには、首都圏で働いていて仙台・東北への転職に関心を持つ人材にピンポイントで情報発信することが必要。
- ・ 首都圏に就職した優秀な人材の中には、結婚や子育てなどの人生の節目で宮城に戻りたいと考えている人がいる。そういう人材に対して仙台市が地元企業の情報を発信すること、更に、その情報にアクセスしてもらえるように仙台を離れる時から情報をばらまいておくなど、市が大きく構えて、仙台にUターンできる可能性を若い人に与えてほしい。
- ・ 新卒者に地元就職を選択肢に入れてもらうためには、地元企業の魅力をいかに発信していくかが重要。更には、就活の時期だけでなく、例えば小学生のうちから地元中小企業と触れる機会をつくり、身近な存在として認知してもらうことも有効ではないか。
- ・ 外国人労働者の受入環境の整備や、東北大学等の留学生を如何に地元企業への就職につなげていくことも必要。

【経営者向けの支援について】

- ・ 変化し続ける経済情勢に経営者が如何に対応できるかが重要であり、経営者自身を成長させる仕組みが必要。
- ・ 地域に支持されないと企業は生き残れない。地域の課題を自社の経営課題と捉えて、経営者自身が事業を再定義できるかが重要であり、それを促進することが支援のポイント。
- ・ 経営者層向けの支援は非常に重要。目に見えないソフトの部分こそ会社の強みをつくる部分であり、企業の成長には不可欠である。
- ・

【中小企業の成長支援について】

- ・ 地場の産業が成長していくためには、市内に本社を置く企業をひいきして、成長を集中的に後押しすることが重要。
- ・ 中小企業が成長するためには、製品開発など事業面の支援だけでなく、マネジメントへのサポートが必要。
- ・ 事業の成長が魅力的な人材を惹きつけ、優秀な人材を獲得し、それが更に事業の成長につながるという好循環をモデル化していくことが望ましい。

【その他のご意見】

- ・ 事業承継を促進するために、実際に事業を引き継いだ経営者の経験談を共有できる場があるとよい。
- ・ 地域経済にとって、仙台港・仙台空港は重要な拠点であり、国や県だけではなく市も一緒に利用促進に役割を果たすべき。

以上